



KONICA MINOLTA

## コニカミノルタ責任ある鉱物調達方針

コニカミノルタは世界中にサプライチェーンをもつグローバル企業として、紛争地域および高リスク地域<sup>\*1</sup>からの鉱物の採掘、取引、取扱い、および輸出に関連して発生可能性がある人権侵害などの重大リスクを防止するため、責任ある鉱物調達に取り組んでいきます。

紛争地域および高リスク地域の例としてコンゴ民主共和国およびその周辺国が挙げられ、この地域で採掘される紛争鉱物<sup>\*2</sup>に加えて、コバルトなどの鉱物は武装勢力の資金源となり、人権侵害、環境破壊などを助長している可能性が懸念されています。

この国際的な問題を解決するため、コニカミノルタでは経済協力開発機構(OECD)の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」(以下OECDガイダンス)を参考に、グループ横断の推進体制を構築し、サプライチェーンにわたる鉱物調査、デュー・ディリジェンス<sup>\*3</sup>を実施することで、紛争地域および高リスク地域で発生する人権侵害や贈収賄などOECDガイダンス 付属書Ⅱ<sup>\*4</sup>に記載されたリスクに関わる鉱物の製品及び部品、材料からの排除を進めています。

お取引先の皆様におかれましても、コニカミノルタの責任ある鉱物調達に対する考え方や活動にご賛同いただき、強力なパートナーシップに基づいて、RMI (Responsible Minerals Initiative) が推進するRMAP (Responsible Minerals Assurance Process) に準拠した製錬／精製業者からの鉱物調達を通して人権侵害、贈収賄などの重大リスクを含んだ鉱物の製品及び部品、材料からの排除に向けて取り組むようお願い申し上げます。万一、紛争への加担や重大な人権侵害に関与する鉱物が見つかった場合には、お取引先へ是正要請を行い、是正状況に応じては取引見直しなどを行うこともあります。

2025年4月1日

コニカミノルタ株式会社

経営企画部長

川杉 泰弘

\*1紛争地域および高リスク地域(Conflict-Affected and High-Risk Areas)、武力による紛争、広範にわたる暴力、もしくは人々に危害が及ぶ地域、詳細はOECD定義に準ずる。

\*2紛争鉱物：ズズ石(ズズの原鉱石)、コルタン(タンタルの原鉱石)、金、鉄マンガン重石(タンクスチンの原鉱石)及びその派生物

\*3紛争鉱物デュー・ディリジェンス：鉱物サプライチェーン上の実態調査に基づいて人権侵害のリスクを特定・評価し、悪影響を防止もしくは緩和するための措置

\*4OECD ガイダンス付属書Ⅱ:責任ある鉱物調達のために避けるべきリスクとして、鉱物の採掘、輸送、取引に関連した人権侵害、非政府武装集団に対する直接的または間接的支援、公的または民間の保安隊による不法行為、贈収賄および鉱物原産地の詐称、資金洗浄、政府への税金、手数料、採掘権料の未払いが規定